

かせやま むかし しま
加瀬山は昔、島だった！



いま ねん まえ かせやま しゅうへん うみ ひろ
今から6,000年ほど前、加瀬山の周辺には海が広がって
いました。気温が今より年平均で2度ほど高かったため、
海面は今より4～5mほど高かったようです。

ゆめみ が さき ぶ しょう
夢見ヶ崎ゆかりの武将
おお た どう かん
太田道灌



太田道灌画像
(大慈寺所蔵、伊勢原市指定文化財)

おお た どう かん むろまち じ だいい ぶ しょう
太田道灌は室町時代の武将で、
扇谷上杉氏に仕えて上杉定正の執
事を務め、25歳(1457年)の時
に江戸城を築きました。

ゆめみ が さき おお た どう かん ちくじょう
夢見ヶ崎には、太田道灌が築城
する場所を探しに訪れたと言われ
ています。

その後、道灌は上杉氏を支えて
関東地域の平定に従事しました。

なな え や え はな さ やまぶき
七重八重 花は咲けども山吹の
実のひとつだに なきぞ悲しき

ゆめみ が さき しゅうへん おも しゅうつ ど ひん
夢見ヶ崎周辺からの主な出土品



秋草文壺 (慶應義塾所蔵)

ちけんあつみ ちほう かま
知県渥美地方の窯でつくられたと考えられています。

あきくさもんづば し ない しゅうつど
秋草文壺は、市内から出土
した唯一の国宝です。1942
(昭和17)年に白山古墳の麓
から、火葬された人骨が詰っ
た状態で発見されました。

つばくび どう
壺の首から胴にかけて、すす
き・瓜・柳の秋草やトンボな
どが線刻されています。平安時
代末(12世紀後半)に今の愛



三角縁神獣鏡 (慶應義塾所蔵)

やまと せいけん どうめいかん けい あかし わ
大和政権から同盟関係の証として分け与えられたのではな
いかと考えられています。

さんかくぶちしんじゅうきょう ぱくさん こふん
三角縁神獣鏡は、白山古墳から
出土したもので、名前の由来は、鏡
の縁の断面が三角形で、鏡の裏面
に「神」と「獣」の文様があること
からきています。西日本の3箇所の
古墳から出土した三角縁神獣鏡と
おなじ けいごう けいごう
同じ鏡型でつくられた鏡(同範
鏡)で、白山古墳に葬られた豪族

み ちか れき し たず
身近な歴史を訪ねて

加瀬山

～かせやま・ゆめみ が さき～

夢見ヶ崎



お問い合わせ先

【文化財の内容に関すること】

教育委員会生涯学習部文化財課
TEL: 044-200-3306
FAX: 044-200-3756
E-mail: 88bunka@city.kawasaki.jp



【展示に関すること】

幸区役所まちづくり推進部企画課
TEL: 044-556-6684
FAX: 044-555-3130
E-mail: 63kikaku@city.kawasaki.jp



2015(平成27)年3月発行

